

平成27年2月22日

横浜市西区社会福祉協議会障がい福祉関係分科会会長 深野 博子

障がい者避難所体験から見てきたこと

取り組みまでの経過

- ・平成17年度の「サポートが必要な人への支援のためのガイドライン作成がきっかけ

地域や地域の取り組みを知るための活動

- ・災害シンポジウム井戸端会議や、地域の避難訓練に参加
- ・西区「災害時にサポートが必要な人のための支援マニュアル」を作成
- ・防災拠点管理運営員会連絡協議会に支援マニュアル配布

障がい者避難所体験を実施して

「防災」は障がい者と地域を結ぶきっかけづくり
顔の見える関係づくりは「防災」

- ・第1回 避難所でどんなもの 避難した時に確認しておきたい事
- ・第2回 避難所で全ての人と一緒に過ごすためにどんな工夫が必要か考えてみよう
- ・第3回 災害時にみんなで助け合うために (東日本大震災後)
- ・第4回 誰でもが顔見知りになれるように
- ・あんしんカード検討員会で障がい者団体も委員として参加

今後の課題

- ・自治に関わる
- ・障がい当事者の発信力の強化
- ・継続的な出会いの場

自己紹介

深野 博子

西区生活支援ネットワーク代表。

横浜市西区社会福祉協議会理事

社福法人 横浜共生会 しんよこはま地域活動ホーム 相談員

家族は夫・息子二人と義母との5人家族。二男(33歳)は知的障がいがある。

子どもが学齢期時は、自主訓練会さつき会(磯子)・まつぼっくり会学童部(西区)に所属
横浜障害児を守る連絡協議会で障がい児の教育・福祉に関する施策に対しての提言に関わ
った。

現在は、西区でのより良い暮らしに向けて活動をしている。